



# 福岡県立育徳館高等学校

## 次世代を担う人材を育成するためのICT活用

目的:コロナ前よりも、分かる・効率的な授業を行い、生徒の理解度上昇を狙う

背景:対話的な授業は難しいが、学校全体でICT活用の空気がつくられている

### 授業スタイルの抜本的見直しが必要

教え合うことができなくなった分、生徒個人だけで理解できる工夫がより必要に



### 全教室にプロジェクター設置済み

全教員・全生徒が利用できる環境の整備



問題:対話ができない分、学習に対する意欲・能力が低下する

#### 問題① 学習意欲の低下

- ・教え合いや質問の減少
- ・疑問未解決による学力低下

#### 問題② 入試までの時間のゆとり減

- ・高3生は、少ない期間で学習内容を理解しなければならない

#### 問題③ 学校全体での集会が困難

- ・講演を聞く機会減少
- ・全校を挙げての共通認識 難

方法:利用可能な教材は全て活用し、これまでの授業の質をさらに向上させる

#### 工夫① 使えるICTは全部使う

**数学**

授業プリントとスライドの連動

**英語**

黒板に直接投影・書込

**理科**

授業中に動画を多用反転授業

うなり:2つの音源から出る音波が少しずつ重なり合うと、音の大きさが周期的に変化して聞かせる現象。

#### 工夫② 反復学習が可能なくみ作り

動画による反復学習

プリントのQRコードで授業時に見たものと同じ動画を家で復習  
→自分の理解しきれなかったところのみを自分のペースで学習可能に!

問題演習を反復し、知識を確実に付ける

マイクロメーターの使い方をマスターしよう!

コロナ禍では特にできない実験についての動画を作成・提供

先取り授業の実施

高校3年生の授業動画で高校2年生が先取り学習

#### 工夫③ Zoom等を用いた遠隔授業

佐渡裕氏との会談 7/25実施

性教育講演会 8/27実施

スマホマナー講座 9/3実施

交通安全教室 10/29実施

期待される結果:コロナ前よりも理解度・学外でしかできない経験数 上昇

	教員	生徒
ICT活用前	対話難・生徒の様子把握難	わからないことを聞きづらく、そのままに→学習意欲減
ICT活用後	理解度上昇を体感、作成の負担増	理解度上昇、学習意欲上昇

**今後の課題**

- ・ビジュアルに頼りすぎることで、説明を理解する力が弱くなっている?
- ・ICT活用が目的化するのではなく、授業改善のための1つの手段。記述力等を育てるためには、黒板との共存が必要。

まとめ:コロナ禍でのICT導入は、分かる・効率的な授業改善のチャンス